大阪城

2021 11/22 (月) 14215 号

全港湾 西成分会

ゴスケ 6647-4947

公園のイチョウも黄色に色づき、紅葉もあったり冬にむけた自然や生物の動きも楽しいものです。人間も、マフラーや軍手もそろそろ身にまとうようになりそうです。

12/6(月)から、東京では臨時国会で、30兆円余の経済対策が論議されるようです。安倍・菅時代とは少し違う風な岸田政権に見えます。自民党内部での各グループの権力・力関係も変化するので、政治の手法やカラーも変っていくのだろうと思います。

しかし、大事なのは、日本をとりまく、気候・エネルギーなどの地球環境の変化、アメリカが国力を落してきている中での米中対立、EUヨーロッパの自立化、アジアの経済力の前進など、自民党政治が、正しく、かしこく対応できているとは見えません。日本国内では、島国である治安上の特長もあって、自民党政治レベルで支配をしてきていますが、今後の安定した保障はありません。政権交代もおこらず、岸田で一息つき安定したように見える日本政治ですが、社会の上下左右、底辺・地区からの動きはやむことはありません。来年はインフレ物価高で始まりそうです。

10月は気持ち求人上向き

西成労働福祉センター「センターだより」より

10 月の地域求人数		対前月増減比	対前年同月増減比
現金（日払い）	17124	10．3%	−1．8%
契約（延べ数）	13958	24．0%	14．5%
高齢者清掃ほか	5475	7．9%	−4．0%

今年も残すところ一月そろそろ年越しのこと頭に入れて準備を

先月10月は確かにコロナも急減して仕事が動き出した流れになっていましたが、まだまだコロナ前を回復するところにはなっていません。

また来月は師走で20日前後になれば求人車もこなくなって年明け十日戎過ぎまでの長期の休業ということになります。

「まだ仕事は大丈夫」と思っていると急に状況が一変することもあるので気をつけて越年の準備に心がけましょう。

ひと昔前まで「年越し・越冬の行事」、いつも大騒ぎの行事でしたが、最近は人の数も減ったり、生活保護への移行になった仲間が多いくなったりで、通常の業務のやりくり程度のものになっています。12月にはいると行事予定が掲示されます。